

# NEWS RELEASE [www.jogmec.go.jp](http://www.jogmec.go.jp)



独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構

問合せ先: CCS 事業部 地下技術課 赤井、三上 電話: 043-276-9266  
広報担当: 総務部 広報課 高山 電話: 03-6758-8106

## インドネシア・スコワティ油田における 坑井間の CO2 圧入試験の開始について

JOGMEC (本部: 東京都港区、理事長: 高原 一郎) は、インドネシア国営石油会社 PT Pertamina (Persero) (以下「プルタミナ」)、PT Pertamina EP (以下「PEP」)、石油資源開発株式会社 (以下「JAPEX」) と共に、インドネシア共和国東ジャワ州のスコワティ (Sukowati) 油田において、坑井間の二酸化炭素 (CO2) 圧入試験を開始しました。



CO2圧入開始セレモニーの様子(2024年10月14日)

左から、ヌール石油ガス技術環境局長(エネルギー・金属鉱物資源省)、サルヤディ取締役(プルタミナ)、岡部 CCS事業部担当審議役、ニクCEO(プルタミナ)、岡本アジアカーボンニュートラル事業部長(JAPEX)、チャリドCEO(PT Pertamina Hulu Energi)、オキ上級副社長(プルタミナ)

JOGMEC、JAPEX、プルタミナ及びPEPの四者は、2023年7月からスコワティ油田におけるCO2-EOR

(注1)の商業化を目指し、小規模なCO2圧入試験の実施を含む技術スタディを進めてきました。

本試験は、2024年8月に締結した共同研究契約に基づき、2024年10月8日に開始されました。本試験では、CO2の圧入井より、約1ヵ月間で計2,500トンのCO2を地下に圧入し、周辺の生産井(モニタリング井)におけるEOR効果とCO2貯留効果の確認を予定しています。本試験は、将来の商業開発に近い条件での試験であり、商業化に向けた重要なマイルストーンになると期待されます。

スコワティ油田は、大規模なCO2排出源に隣接し、地下の貯留層条件もCO2-EORに適した油田と評価されています。JOGMECは、共同研究パートナーであるJAPEX、プルタミナ及びPEPと共に、本試験で得られるデータを活用し、CCUS(注2)技術の一つであるCO2-EORの東南アジアで初となる商業化を目指し、検討を進めてまいります。

本件は、日本政府が主導するアジア・ゼロエミッション共同体(Asia Zero Emissions Community: AZEC)構想やアジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ(Asia Energy Transition Initiative: AETI)の一環として進めており、アジア地域でのCCUSネットワークの構築に資する取組です。JOGMECは、今後も我が国のエネルギー安全保障の向上と、インドネシアをはじめとするアジア地域の持続的な経済発展とカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

(注1) CO2を利用した原油の増進回収(CO2 Enhanced Oil Recovery)。

(注2) Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage (CO2の回収・有効活用・貯留)の略。

## ■参考

インドネシア・スコワティ油田における坑井間のCO2圧入試験の実施に係る共同研究契約を締結(2024年8月22日)

(URL) [https://www.jogmec.go.jp/news/release/news\\_10\\_00196.html](https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00196.html)

インドネシア・スコワティ油田におけるCO2圧入実証試験の実施に向けた共同研究契約を締結(2023年7月26日)

(URL) [https://www.jogmec.go.jp/news/release/news\\_10\\_00127.html](https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00127.html)

インドネシア国営会社とエネルギー・トランジションに関する覚書を締結～CO2地下圧入や水素・アンモニア製造等の事業創出に前進～(2023年4月17日)

(URL) [https://www.jogmec.go.jp/news/release/news\\_10\\_00108.html](https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00108.html)

インドネシア陸上油田におけるCO2圧入開始について(2022年10月27日)

(URL) [https://www.jogmec.go.jp/news/release/news\\_10\\_00060.html](https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00060.html)

インドネシア陸上油田におけるCO2圧入(CCUS)の実施について(2022年8月31日)

(URL) [https://www.jogmec.go.jp/news/release/news\\_10\\_00039.html](https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00039.html)

梶山経済産業大臣(当時)が「アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ(AETI)」を新たに表明しました(経済産業省ホームページ)

(URL) <https://www.meti.go.jp/press/2021/05/20210528007/20210528007.html>

アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)閣僚会合及びAZEC官民投資フォーラムを開催しました(経済産業省ホームページ)

(URL) <https://www.meti.go.jp/press/2022/03/20230306005/20230306005.html>

